

1. 住居表示とは
2. 座間市の住居表示実施状況
3. 位置図
4. キャンプ座間チャペル・ヒル住宅地区返還跡地利用構想図
5. キャンプ座間返還跡地の概要
6. 住居表示の実施方法

# 住居表示とは

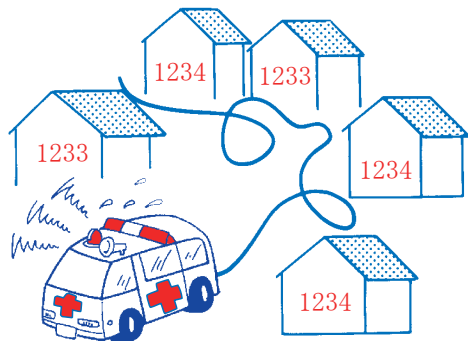
現在、私たちは住所を表すのに町名と地番を用いています。この「地番」とはもともと、住居を表すために付けられたものではなく、明治のはじめ、主に徴税を目的として土地に付けられた番号です。

このため、地番は一軒の家で一つとは限りません。同じ地番に多数の家が建っていたり、土地の売買などに伴い分筆・合筆が行われ、枝番や欠番が生じ大変複雑なものとなっています。

そこで、住所の表示をわかりやすいものにするため、「住居表示に関する法律」に基づく住居表示制度が全国的に実施されており、本市でも相模が丘など12の地区が新しい住居表示となっています。

座間市住居表示実施区域

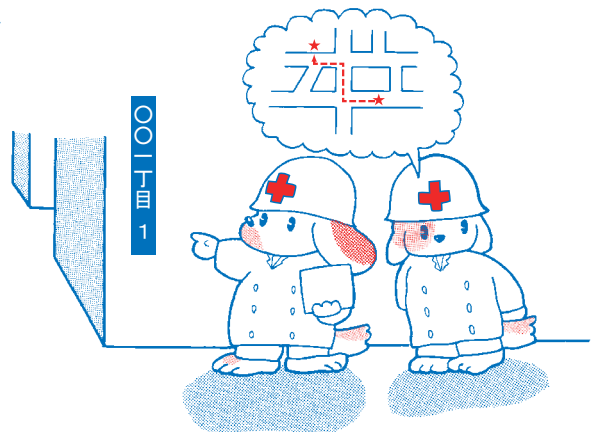
町 名	実施年月日
相模が丘一丁目～六丁目	昭和56年6月1日
東 原一丁目～五丁目	昭和58年11月7日
さがみ野一丁目～三丁目	昭和60年10月21日
緑 ケ 丘二丁目～六丁目	昭和62年10月19日
南 栗 原一丁目～六丁目	平成元年10月16日
栗原中央一丁目～六丁目	平成3年10月14日
緑 ケ 丘 一 丁 目	平成4年12月16日
立 野 台一丁目～三丁目	平成5年11月1日
西 栗 原一丁目・二丁目	平成5年11月1日
小 松 原一丁目・二丁目	平成9年10月20日
広 野 台一丁目・二丁目	平成11年9月13日
ひばりが丘一丁目～五丁目	平成14年9月17日
相 武 台一丁目～四丁目	平成25年10月15日



現在の住所は土地の符号である「地番」を使っていますが、番号が飛んでいたり、同じ地番に多くの家が密集していたりしてわかりにくくなっています。

そこで...

住居表示を実施し、建物に順序よく番号を付けて、「〇〇□丁目□番□号」の表示にします。

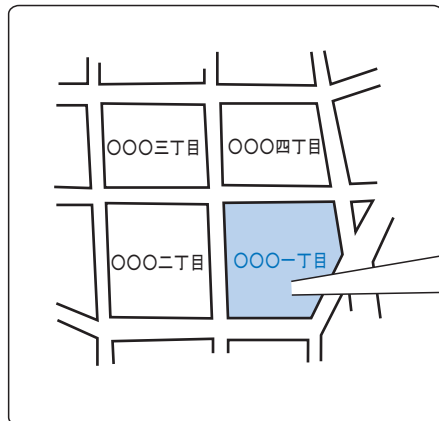


# 住居表示のしくみ

※図は説明用ですので、実際の実施区域の地形とは異なります。

新町名

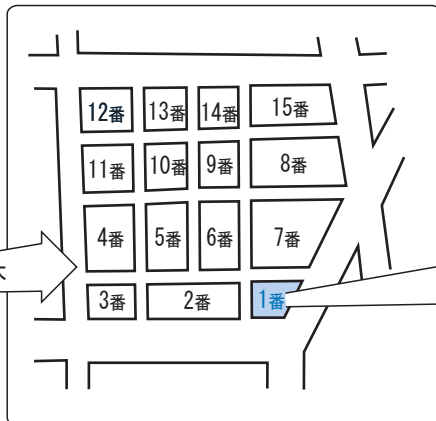
〇〇〇一丁目



↑町の区域をはっきりわかりやすく区切り、〇〇〇×丁目にします。

街区符号

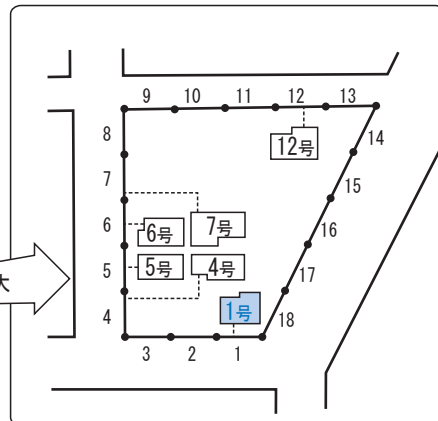
1番



↑町(〇〇×丁目)の中を分割してブロックに分け、順に街区符号を付けます。

住居番号

1号



↑街区のまわりに基礎番号を設定し、家の出入口位置によって住居番号を決めます。

## 新しい住所の表し方

### 住居表示(住所)の表し方

実施前

座間市

座間

1 2 3 番地の 4

実施後

座間市

相武台一丁目

新町名

1 番

街区符号

1 号

住居番号

### 本籍の表し方

実施前

座間市

座間

1 2 3 番地 4

実施後

座間市

相武台一丁目

新町名

1 2 3 番地 4

### 不動産(土地)の表し方

実施前

座間市

座間 字 〇 〇

1 2 3 番 4

実施後

座間市

相武台一丁目

新町名

1 2 3 番 4

## 座間市の住居表示実施状況

### (1) 実施率（平成26年4月1日現在）

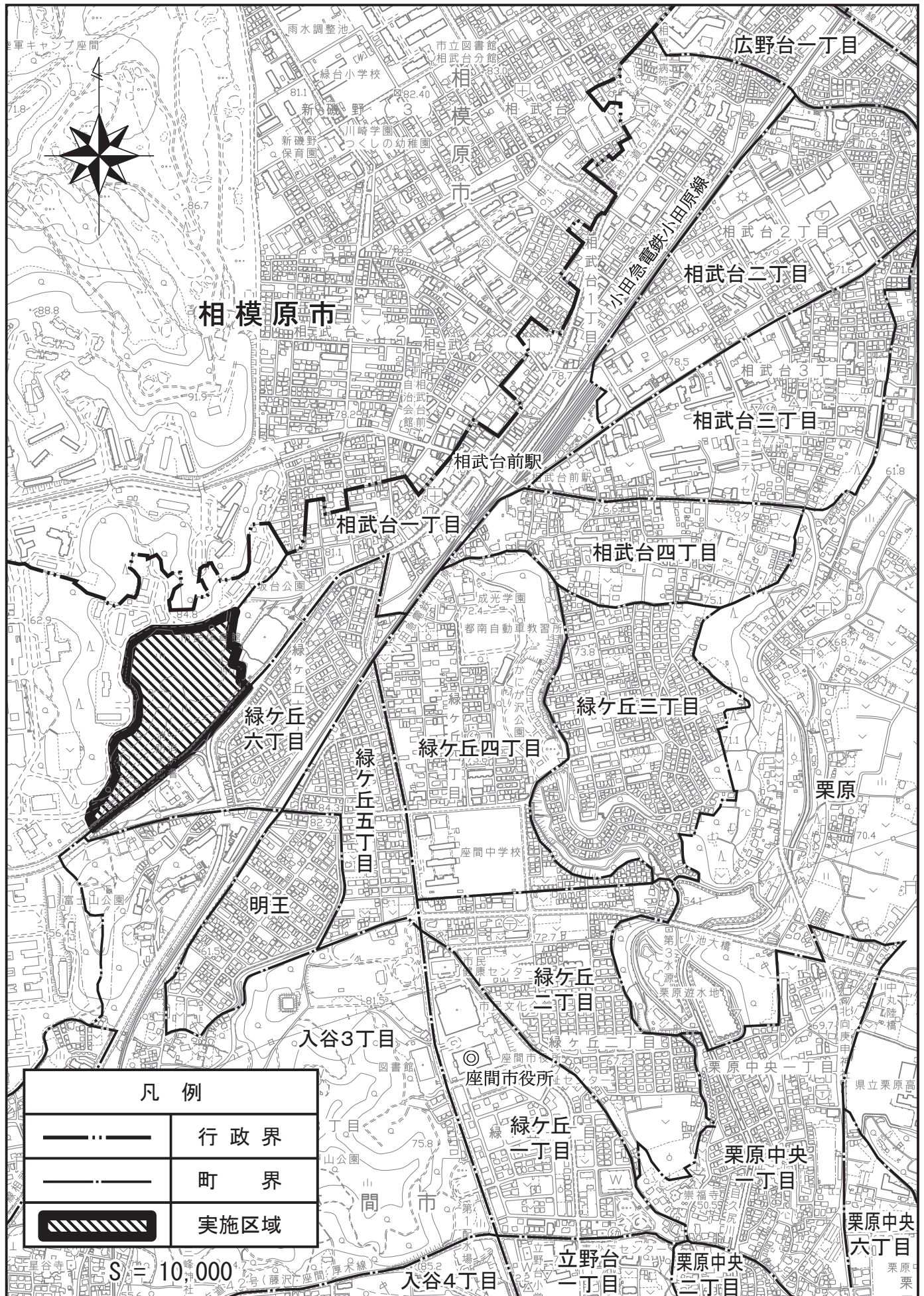
面 積 (ha)			人 口 (人)		住居表示実施率 (%)		
全 域	市街化	実施済	総人口	実施済	対面積		対人口
					全 域	市街化	
1,758	1,253	886	129,120	97,941	50.40	70.71	75.85

### (2) 実施経緯（平成26年4月1日現在）

	実施年月日	新町名	旧町名	街区数	面積 (ha)
第一次	昭和56年6月1日	相模が丘一丁目～ 六丁目	相模台	319	135.4
第二次	昭和58年11月7日	東原一丁目～五丁目	栗原	82	73.5
第三次	昭和60年10月21日	さがみ野一丁目～ 三丁目	栗原	29	19.6
第四次	昭和62年10月19日	緑ヶ丘二丁目～六丁目	緑ヶ丘 栗 原 相武台 4丁目	149	70.6
第五次	平成元年10月16日	南栗原一丁目～六丁目	栗原	127	69.9
第六次	平成3年10月14日	栗原中央一丁目～ 六丁目	栗原	161	82.8
第七次	平成4年12月16日	緑ヶ丘一丁目	緑ヶ丘	28	13.5
第八次	平成5年11月1日	立野台一丁目～三丁目 西栗原一丁目～二丁目	立野台 栗 原 入谷 5 丁目	87 27	71.4
第九次	平成9年10月20日	小松原一丁目～二丁目	小松原1・2 丁目	111	67.4
第十次	平成11年9月13日	広野台一丁目～二丁目	広野台1・2 丁目	60	67.6
第十一次	平成14年9月17日	ひばりが丘一丁目～ 五丁目	ひばりが丘 1～5丁目	313	139.3
第十二次	平成25年10月15日	相武台一丁目～四丁目	相武台 1～4丁目	149	75.0
				1,642	886



## 位置図





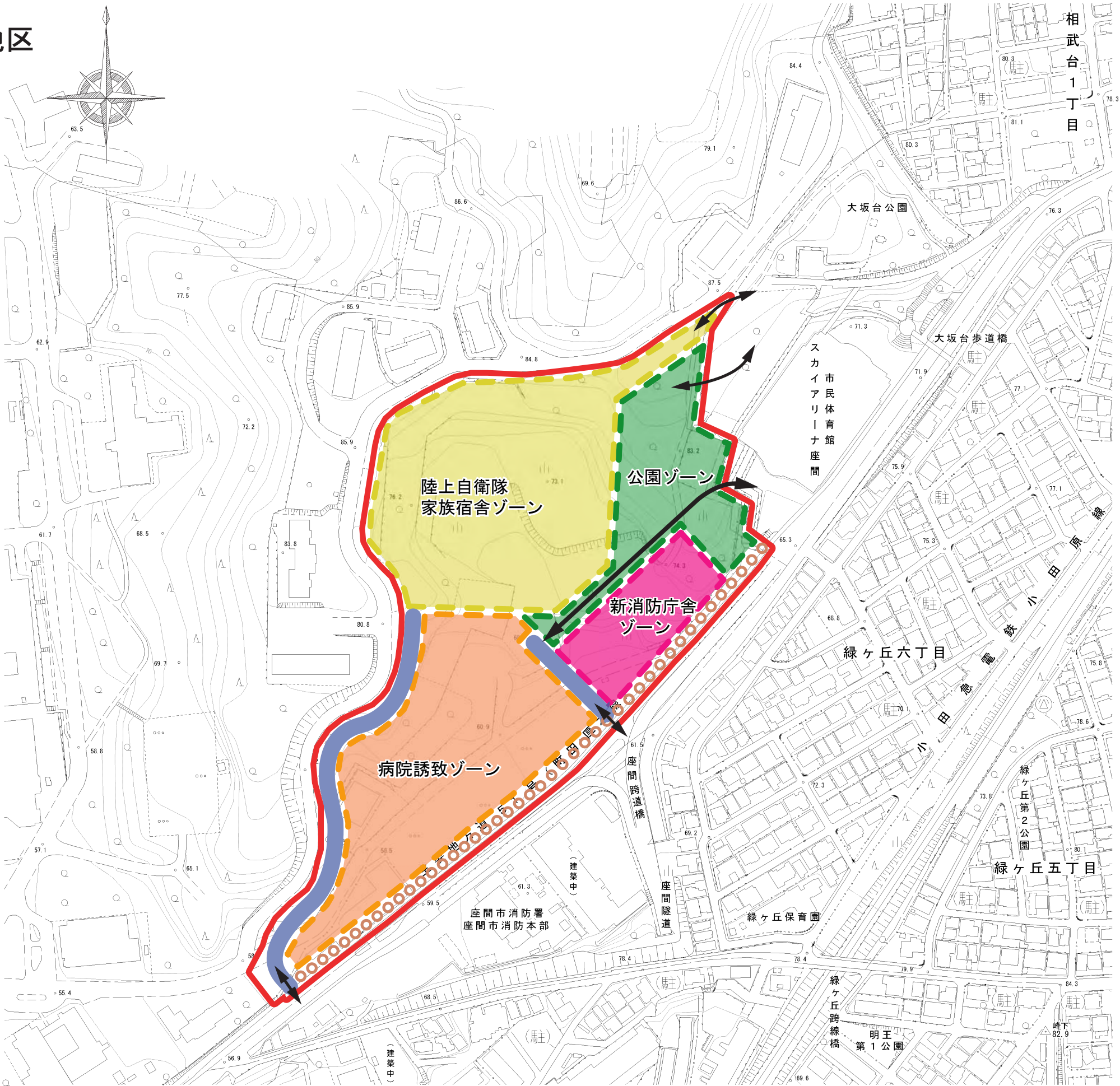
# キャンプ座間チャペル・ヒル住宅地区 返還跡地利用構想図

利用範囲 

返還予定地	約 1. 1 h a
追加的返還候補地	約 4. 3 h a
既存敷地（駐車場用地）	約 0. 2 h a
合計	約 5. 6 h a

利用構想

-  病院誘致ゾーン 約 1.5ha
  -  公園ゾーン 約 1.0ha
  -  新消防庁舎ゾーン 約 0.5ha
  -  陸上自衛隊家族  
 宿舍ゾーン 約 2.0ha
  -  道路
  -  歩道拡幅
- 約 0.6ha



# キャンプ座間返還跡地の概要

## 1. 位置

市庁舎の北西方向に位置しています。東側は、相武台一丁目に、南側は、緑ヶ丘六丁目に、西側及び北側は、キャンプ座間に接しています。

## 2. 経緯

当地区は、長らくキャンプ座間の一部として利用されていた土地ですが、平成 27 年度に返還が予定されております。現在、この地区の大字は、座間または座間入谷となっております。

## 3. 住居表示の必要性

当地区の現在の大字である座間及び座間入谷は、他に座間 1 丁目西側の水田地帯及び河川敷に位置しております、今回の返還跡地にこのまま座間及び座間入谷の大字を使用しますと、飛び地が発生することとなり、住所地を探す際に混乱が生じます。当地区には、返還後間もなく、病院及び自衛隊家族宿舎の利用が予定されており、こちらの利用者やお住まいの方の利便性のためにも、すみやかな住居表示実施が必要と考えられます。

## 4. 地域の特性

面積は約 5. 6 ヘクタール、キャンプ座間返還跡地のため、在住世帯等はなく、現在返還に向けた工事が行われているところです。南側には緑ヶ丘六丁目との境界部分に主要地方道 県道町田厚木線（行幸道路）があります。

# 住居表示の実施方法

## 1 住居表示の実施方法

住居表示は基本的に住居・建物に順序よく番号を付けていくことで、住所の表示を分かりやすいものにしようという制度です。住居表示の実施方法には次の二つの方法があります。

- ① 街区方式
- ② 道路方式

日本の住居表示の方法は、街区方式で行われています。道路方式は、道路に一定の方式で名称をつけ、その道路に沿って建っている建物に住居番号をつけていく方式ですが、主として欧米諸国で採用されております。日本の道路事情を考慮した場合、また町名と番地によって住所を表すという慣習からすれば、この道路方式を取り入れるのは難しいものがあると思われます。

このため、キャンプ座間返還跡地においても「**街区方式**」の方法で住居表示を実施したいと考えます。

## 2 街区方式について

別紙「住居表示とは」を参照。

### ※ 参考（住居表示に関する法律）

**第二条** 市街地にある住所若しくは居所又は事務所、事業所その他これらに類する施設の所在する場所（以下「住居」という。）を表示するには、都道府県、郡、市（特別区を含む。以下同じ。）、区（地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の20の区をいう。）及び町村の名称を冠するほか次の各号のいずれかの方法によるものとする。

- (1) 街区方式 市町村内の町又は字の名称並びに当該町又は字の区域を道路、鉄道若しくは軌道の線路その他の恒久的な施設又は河川、水路等によって区画した場合におけるその区画された地域(以下「街区」という。)につけられる符号(以下「街区符号」という。)及び当該街区内にあり、建物その他工作物につけられる住居表示のための番号(以下「住居番号」という。)を用いて表示する方法をいう。
- (2) 道路方式 市町村内の道路の名称及び当該道路に接し、又は当該道路に通ずる通路を有する建物その他工作物につけられる住居番号を用いて表示する方法をいう。